

単 元		年 組 番
三年 古文・漢文の基礎の復習		氏 名

古文の基礎へ歴史的仮名遣いへ

- ① 語頭以外のハ行音はワ行音に変えるべし！
- ② 「ゐ」「ゑ」「を」は「い」「え」「お」に変えるべし！
- ③ 「ぢ」「づ」は「じ」「ず」に変えるべし！
- ④ 「ゝむ」は「ゝん」に変えるべし！
- ⑤ 母音が「あ」＋「う」「ふ」は母音が「お」＋「う」に変えるべし！
- ⑥ 「くわ」「ぐわ」は「か」「が」に変えるべし！

漢文の基礎へ返り点へ

- ① レ点：…すぐ下の一字から上に返って読むことを示す。
 レ [2] [1]。
 レ [3] [2] [1]。
 レ [3] [2] [1]。
- ② 一・二点：…二字以上下を読んでから、上に返って読むことを示す。
 [3] [1] [2]。
 二 [4] [1] [2] [3] [5]。
 一 [3] [5]。
- ③ 上下点：…レ点や一・二点だけでは不足する場合に付ける。
 [7] [3] [1] [2] [5] [4] [6]。
 下 二 一 レ 上

基礎をしっかり理解しておけば、古文も漢文も読むことはできますね。



まずは正しく読むこと。それが、古文や漢文の理解の第一歩ですね。



チャレンジシート② 基本

問題

学習日

年

月

日

単元		氏名	年組番	15問
三年 古文・漢文の基礎の復習				

1 次の(1)から(10)を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

- | | | | |
|---------|------|-----------|------|
| (1) あはれ | 答() | (2) まうす | 答() |
| (3) ある | 答() | (4) くわし | 答() |
| (5) みづ | 答() | (6) なりたまふ | 答() |
| (7) 恥ぢて | 答() | (8) さうらへば | 答() |
| (9) 移ろひ | 答() | (10) 給ふ | 答() |

2 次の(1)から(5)の口に、返り点に従って読むときの順番を書き入れなさい。

- | | |
|-----|---|
| (1) | 口
レ
口
口。 |
| (2) | 口
レ
口
レ
口
口。 |
| (3) | 口
レ
口
二
口
二
口
一。 |
| (4) | 口
二
口
レ
口
一
口
口。 |
| (5) | 口
レ
口
レ
口
二
口
二
口
一。 |

三年	古文・漢文の基礎の復習	氏名	年 組 番	
				1 2 問

1 次の古文を、歴史的仮名遣いに気を付けて、声に出して正しく読みなさい。歴史的仮名遣いを含む部分には を引いているので、現代仮名遣いに直して、その右側にすべてひらがなで書きなさい。

万よろづのことは、月みるにこそ、慰むものなれ。ある人の、月ばかり面白きものはあらしと言ひしに、またひとり、露こそあはれなれとあらしひしこそ、をかしけれ。折をりにふれば、何かはあはれならざらん。（「徒然草」第二十一段より）

2 次の(1)～(5)を数字通りの順で読む場合、必要な返り点を書き入れなさい。

- | | | | |
|-----|---|---|----|
| (1) | 3 | 2 | 1。 |
| (2) | 3 | 1 | 2。 |
| (3) | 4 | 2 | 1 |
| | | 1 | 3 |
| | | | 5。 |
| (4) | 1 | 5 | 3 |
| | | 3 | 2 |
| | | | 4。 |
| (5) | 6 | 3 | 2 |
| | | 1 | 4 |
| | | | 5。 |